

令和5年5月度・残留農薬分析結果について

青果物を中心として商品本部で取り扱っている全ての食材を対象に、総合科学新潟研究所が品目・産地を指定して残留農薬分析を行った結果をご報告致します。

- 分析の結果、30点中、29点で残留農薬が一切検出されませんでした。
- 農薬を検出した1点についても、大庄基準（国の基準の1/2）以下であり、安全性を確認致しました。

分析結果（詳細）

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地 (加工地)	生産者等	検出農薬(用途)	分析値 (ppm)	大庄基準値 (ppm)	国内基準値 (ppm)
1	キャベツ	神奈川	0501	検出なし	—	—	—
2	たまねぎ	北海道	0502	検出なし	—	—	—
3	はくさい	茨城	0503	検出なし	—	—	—
4	ししとう	高知	0504	検出なし	—	—	—
5	グリーンカール	茨城	0505	検出なし	—	—	—
6	赤パプリカ	韓国	0506	検出なし	—	—	—
7	いちご	長崎	0507	検出なし	—	—	—
8	かぶ	埼玉	0508	検出なし	—	—	—
9	かいわれ大根	埼玉	三和農林(株)	検出なし	—	—	—
10	エシャレット	茨城	JAなめがたしおさい	検出なし	—	—	—
11	えだまめ	埼玉	0511	検出なし	—	—	—
12	れんこん	千葉	0512	検出なし	—	—	—
13	赤め	福岡	JA筑前あさくら	検出なし	—	—	—
14	レモン	オーストラリア	0514	検出なし	—	—	—
15	パイナップル	フィリピン	0515	検出なし	—	—	—
16	ほうれんそう	茨城	0516	検出なし	—	—	—
17	しいたけ	滋賀	関ヶ原椎茸事業組合	検出なし	—	—	—
18	パセリ	静岡	JA静岡経済連	検出なし	—	—	—
19	もやし	岐阜	アスナ(株)	検出なし	—	—	—
20	オレンジ	アメリカ	0520	検出なし	—	—	—
21	ミニトマト	熊本	0521	検出なし	—	—	—
22	じゃがいも	鹿児島	0522	検出なし	—	—	—
23	きゅうり	愛知	JAあいち中央	検出なし	—	—	—
24	にら	佐賀	0524	ペンディメタリン（除草剤）	0.01	0.025	0.05
25	ブリ	三陸	0525	検出なし	—	—	—
26	豚ヒレ串カツ	中国	0526	検出なし	—	—	—
27	馬刺し	ブラジル	0527	検出なし	—	—	—
28	おろしにんにく	中国（日本）	0528	検出なし	—	—	—
29	たくあん漬	日本	0529	検出なし	—	—	—
30	柴漬	日本	0530	検出なし	—	—	—

注) ① 生産者名の一部は、産地及び生産者等の都合により、番号で記載しております。

② ppm : パーツ・パー・ミリオン(parts per million)の略で、1ppmは、食材1kg当りに1mgの農薬が含まれることを示します。

<参考>

① 調査対象食材(検体)の抽出方法

大庄基準で定めた抽出方法(大庄ホームページに掲載)で、大庄グループの店舗への全ての流通(納品)を対象に抽出調査を行っています。

② 残留農薬の分析方法

GC/MS(ガスクロマトグラフ質量分析計)を用いた、一斉分析法。

③ 分析対象農薬

256成分(殺菌剤68,殺虫剤107,除草剤74,植物成長調整剤4,薬害軽減剤3)

④ 大庄グループでは生産者の皆様との連携を深め、可能な限り無農薬や農薬使用を減らしていただき、残留農薬の無い食材を確保するように努めてまいります。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。